

第三次足立区環境基本計画改定版

2025 年度実績報告

2026 年 10 月

<2025 年度実績>

指標と単位（◆：低減目標）		2024 年度 実績	2025 年度 実績	前年度との 差
柱1 地球温暖化・エネルギー対策				
1-1 エネルギーの 効率的な利用	区内のエネルギー使用量（TJ）◆	22,668 TJ (2022年度実績)	22,030 TJ (2023年度実績)	↓ 638 TJ
	助成制度による省エネ支援件数（件）	755 件	924 件	↑ 169 件
	省エネルギーを心がけている区民の割合（％）	52.9 ％	50.6 ％	↓ 2.3 P
1-2 再生可能エネ ルギーの利用 拡大	再生可能エネルギーの導入による二酸化炭素排 出削減効果量（t）	22,826 t	26,300 t	↑ 3,474 t
	区の助成による年間の太陽光発電の導入量（kW）	3,053 kW	4,937 kW	↑ 1,884 kW
	再生可能エネルギーの導入量（累計）（kW）	51,883 kW	59,779 kW	↑ 7,896 kW
1-3 二酸化炭素吸 収量を増やす 取組の推進	区内の二酸化炭素吸収量（t）	3,615 t	3,601 t	↓ 14 t
	樹木被覆地率（％）（※1）	9.7 ％	9.7 ％	± 0
	緑化活動に実際に参加した区民の割合（％）	23.6 ％	18.5 ％	↓ 5.1 P
1-4 気候変動によ る被害の回 避・軽減	熱中症や気象災害による死者数（人）◆	実績の確認元である東京都監察医 務院からの要望により、非公表。		
	熱中症対策講座受講者数（人）	5,252 人	6,249 人	↑ 997 人
	河川の氾濫時の避難場所を決めている区民の割 合（％）	94.2 ％	94.1 ％	↓ 0.1 P
柱2 循環型社会の構築				
2-1 リデュースと リユースの推 進	区が把握できる廃棄物の量（区収集ごみ＋資源化 物＋事業系持込ごみ）（t）◆	187,215 t	183,853 t	↓ 3,362 t
	区内のごみ量（区収集＋事業系持込）（t）◆	161,631 t	158,944 t	↓ 2,687 t
	1人1日あたりの家庭ごみ排出量（g）◆	482.3 g	473.4 g	↓ 8.9 g
2-2 廃棄物の適正 な排出と処理	燃やすごみに含まれる資源化物の割合（％）◆	13.0 ％	11.5 ％	↓ 1.5 P
	適正排出のための指導（ふれあい指導）件数（件） ◆	2,253 件	2,761 件	↑ 508 件
	雑紙（ざつがみ）を燃やすごみではなく、資源と して出している区民の割合（％）	57.5 ％	55.1 ％	↓ 2.4 P
2-3 持続可能な資 源利用への転 換	資源化率（％）	19.83 ％	19.62 ％	↓ 0.21 P
	資源買取市の利用者数（人）	2,622 人	1,951 人	↓ 671 人
	環境に配慮した製品を選んで使っている区民の 割合（％）	11.2 ％	10.8 ％	↓ 0.4 P

指標と単位（◆：低減目標）		2024 年度 実績	2025 年度 実績	前年度との 差
柱3 生活環境に維持・保全				
3-1 生活環境の保 全と公害対策 の推進	公害苦情の相談件数（件）◆	405 件	452 件	↑47 件
	公害苦情相談の解決率（解決件数／受付件数）（％）	94.3 ％	92.7 ％	↓1.6 P
	適切なアスベスト対策を行っている解体等工事現場の割合（％）	50.0 ％	53.0 ％	↑3.0 P
3-2 快適で美しい まちづくり	ごみがなく地域がきれいになったと感じる区民の割合（％）	61.8 ％	58.8 ％	↓3 P
	ごみゼロ地域清掃活動の参加者数（人）	61,607 人	61,654 人	↑47 人
	不法投棄処理個数（個）◆	6,933 個	6,881 個	↓52 個
柱4 自然環境・生物多様性の保全				
4-1 自然や生物多 様性に対する 理解の促進	自然環境を大切にすることを心がけている区民の割合（％）	26.2 ％	27.1 ％	↑0.9 P
	生物とふれあう事業の参加者数（人）	198,200 人	205,626 人	↑7,426人
	自然や生物に関する情報発信回数（回）	3,131 回	2,869 回	↓262回
4-2 自然環境の保 全と創出	まちなかの花や緑が増えていると感じる区民の割合（％）	62.6 ％	62.8 ％	↑0.2 P
	保存樹林指定箇所数（箇所）	31 箇所	31 箇所	±0 箇所
	緑豊かな景観形成に取り組む団体・区民の数	1,213	1,193	↓20
柱5 学びと行動のしくみづくり				
5-1 環境意識の向 上と行動する 人勢の育成	日頃から環境への影響をを考えて具体的に行動していると答えた区民の割合（％）	69.1 ％	73.0 ％	↑3.9 P
	環境に関する情報発信回数（回）	872 回	1,120 回	↑248 回
	環境学習プログラムに参加し、修了した人の数（累計）（人）	923 人	934 人	↑11 人
5-2 環境保全活動 の拡大	自主的な環境保全活動数（回）	9,399 回	8,727 回	↓672 回
	区が実施する環境配慮を促す事業の数（事業）	77 事業	98 事業	↑21 事業
	エコ活動ネットワーク足立の登録団体数（団体）	廃止 （※2）	—	—

（※1）緑の実態調査を実施する概ね 10 年おきに実績を確認する指標

（※2）「あだち SDGs パートナー」「ビューティフル・パートナー」など、他の制度に重複して登録している団体も多かったため、各団体に意向確認のうえ上記制度への移行を推進することにより当該制度は終了

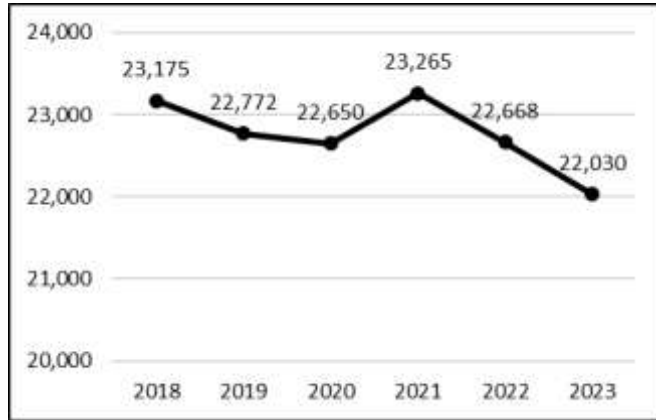
<指標の過去5年間の推移>

【柱1 地球温暖化・エネルギー対策】

(1-1 エネルギーの効率的な利用)

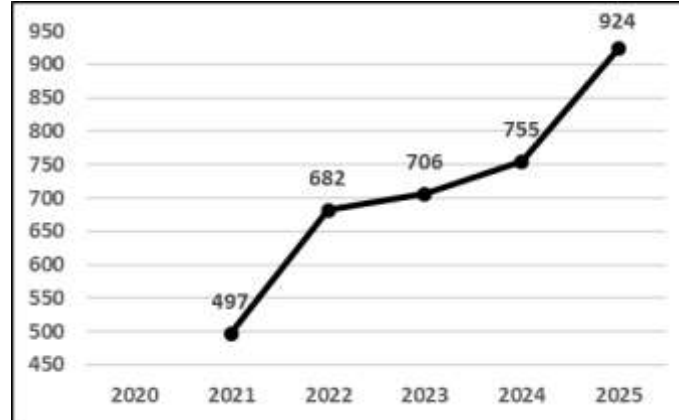
区内のエネルギー使用量（単位：TJ）

※ 2023 年度が最新実績

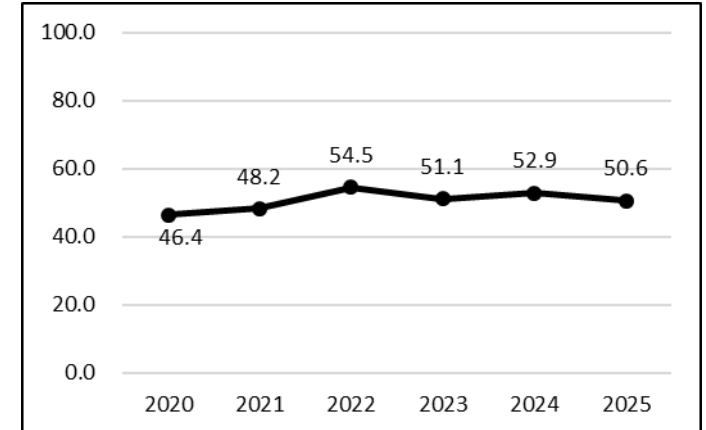


助成制度による省エネ支援件数（件）

※2021 年度からの調査項目

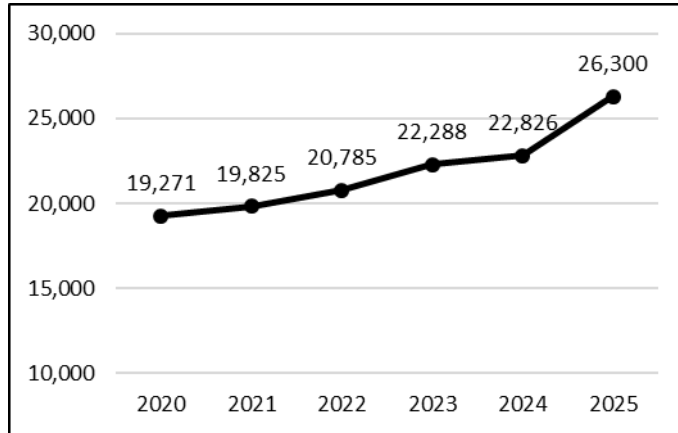


省エネルギーを心がけている区民の割合（単位：%）

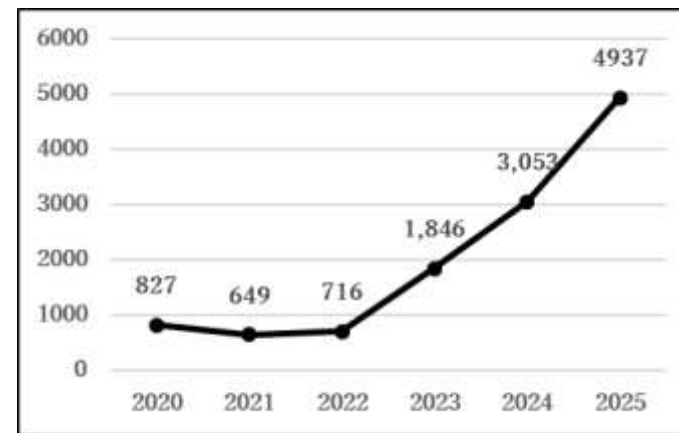


(1-2 再生可能エネルギーの利用拡大)

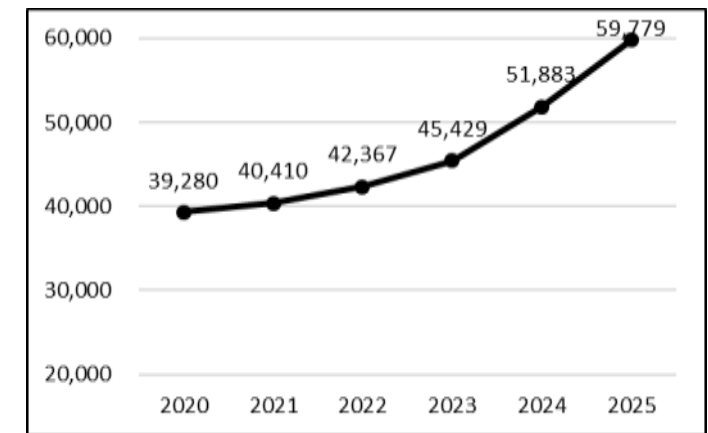
再生可能エネルギーの導入による二酸化炭素排出削減効果量（単位：t）



区の助成による年間の太陽光発電導入量（単位：kW）

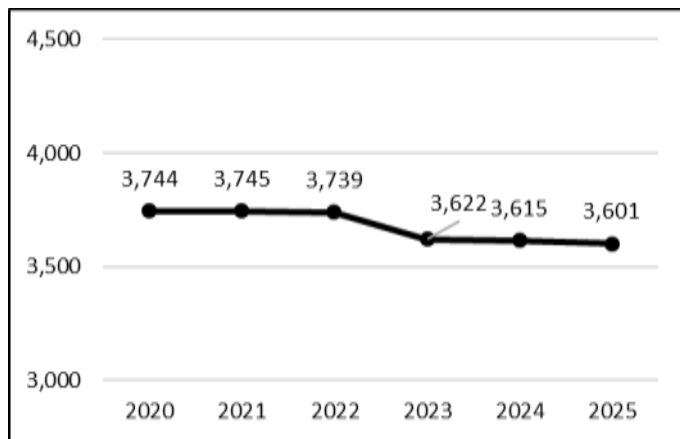


再生可能エネルギーの導入量（累計）（単位：kW）



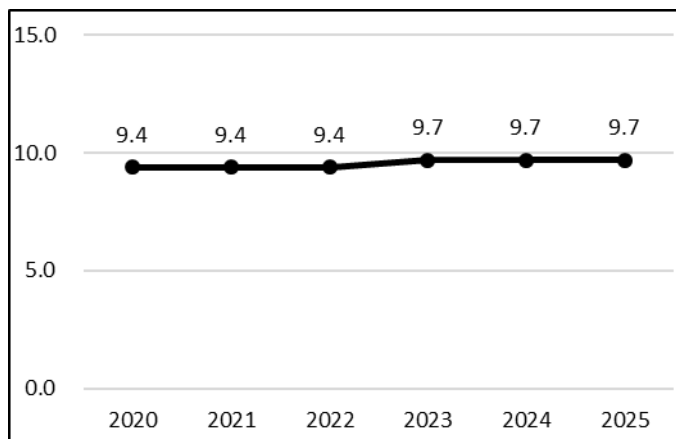
(1-3 二酸化炭素吸収量を増やす取組の推進)

区内の二酸化炭素吸収量（単位：t）



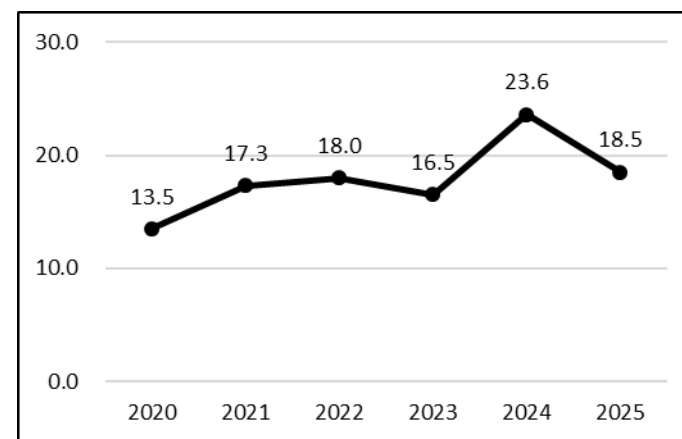
※2019年度からの調査項目

樹木被覆率（単位：%）



※緑の実態調査を実施する概ね10年おきに実績を確認

緑化活動に参加した区民の割合（単位：%）



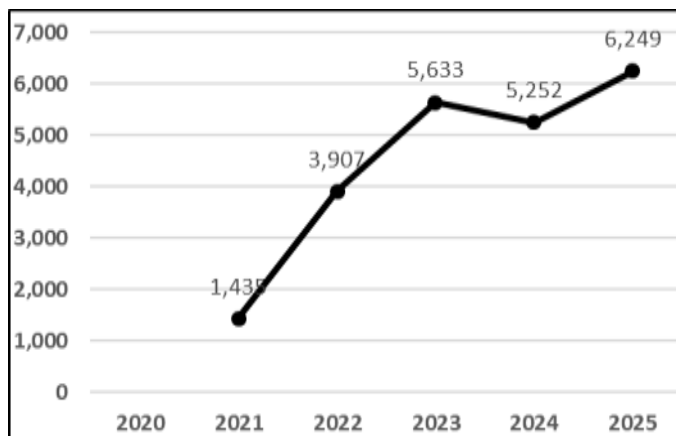
(1-4 気候変動による被害の回避・軽減)

熱中症や気候災害による死者数（単位：人）

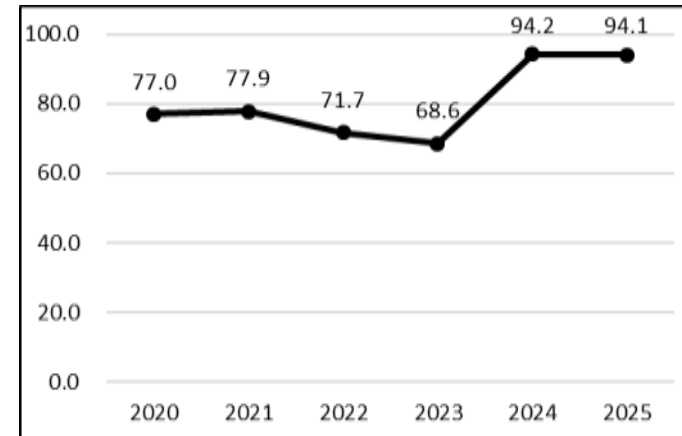


熱中症対策講座受講者数（単位：人）

※2021年度からの調査項目



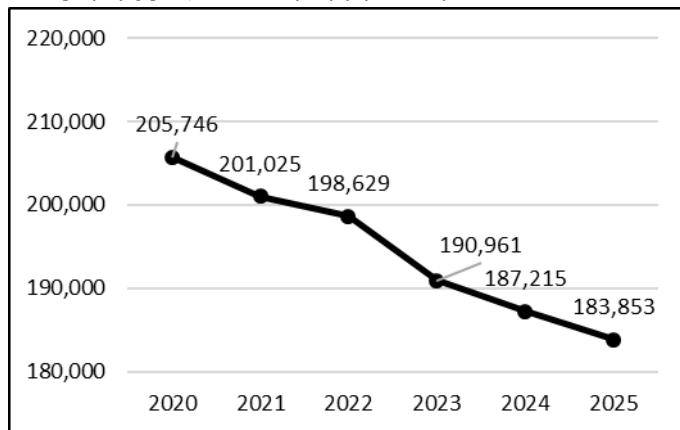
河川の氾濫時の避難場所を決めている区民の割合（単位：%） ※2020年度からの調査項目



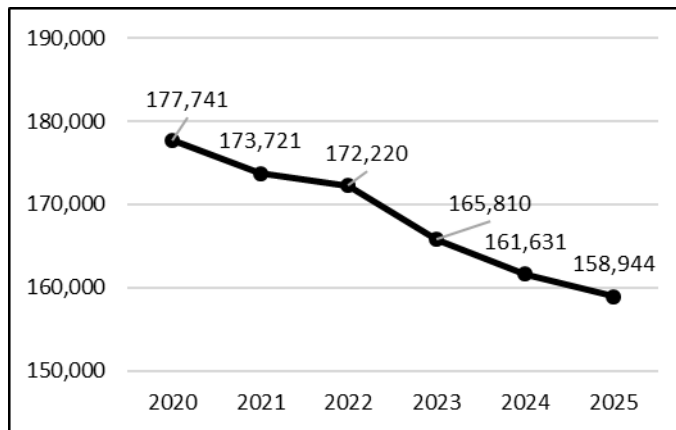
【柱2 循環型社会の構築】

(2-1 リデュースとリユースの推進)

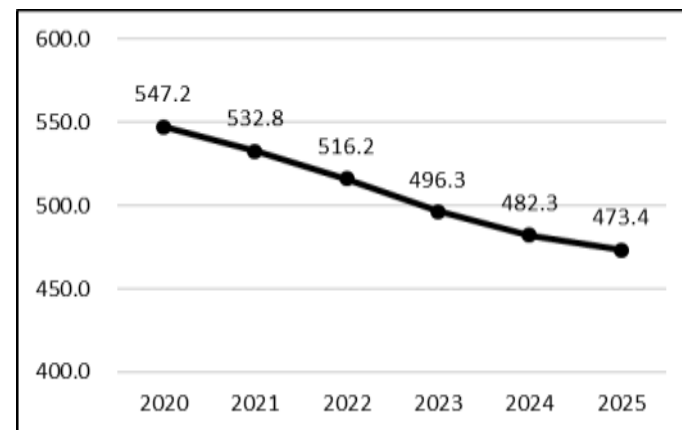
区が把握できる廃棄物の量（区収集ごみ＋資源化物＋事業系持ち込みごみ）（単位：t）



区内のごみ量（区収集＋事業系持込）（単位：t）



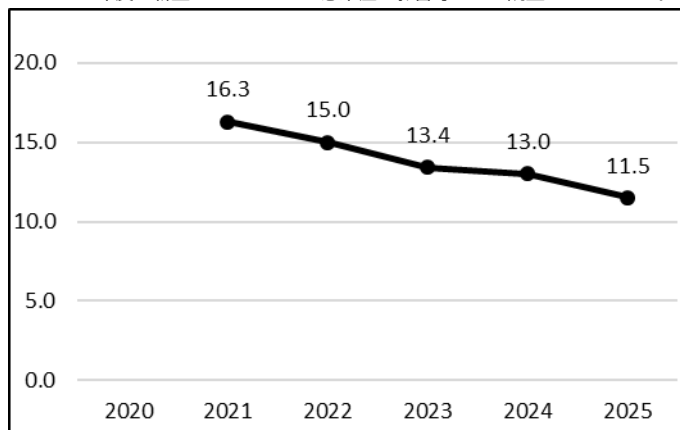
1人1日あたりの家庭ごみ排出量（単位：g）



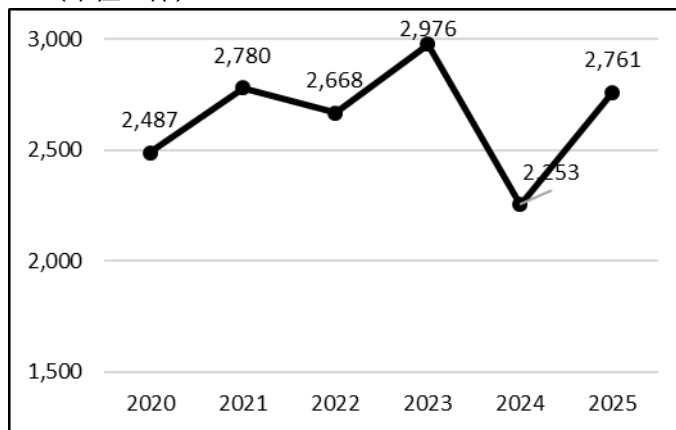
(2-2 廃棄物の適正な排出と処理)

燃やすごみに含まれる資源化物の割合（単位：%）

※ 2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響等により調査していません。

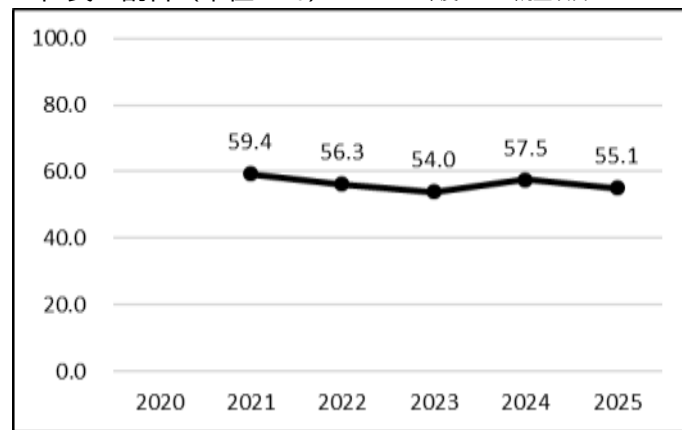


適正排出のための指導（ふれあい指導）件数（単位：件）



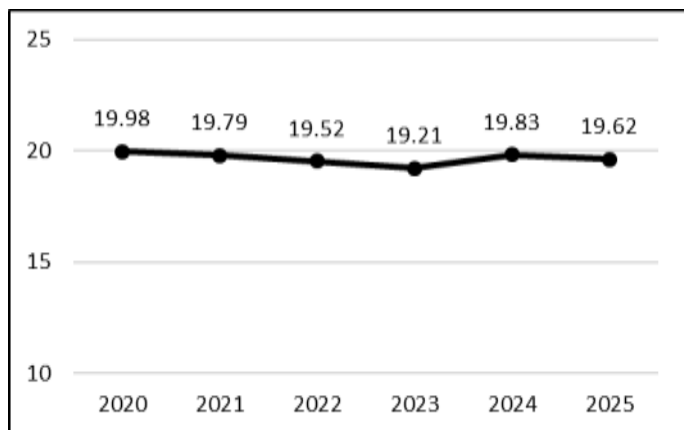
雑紙を燃やすごみでなく、資源として出している区民の割合（単位：%）

※2021年度からの調査項目

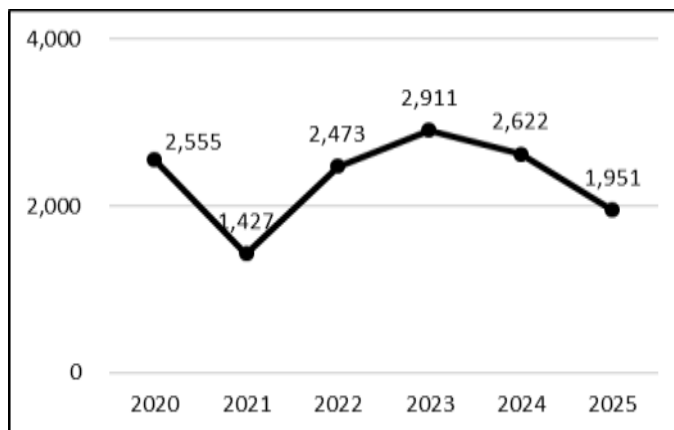


(2-3 持続可能な資源利用への転換)

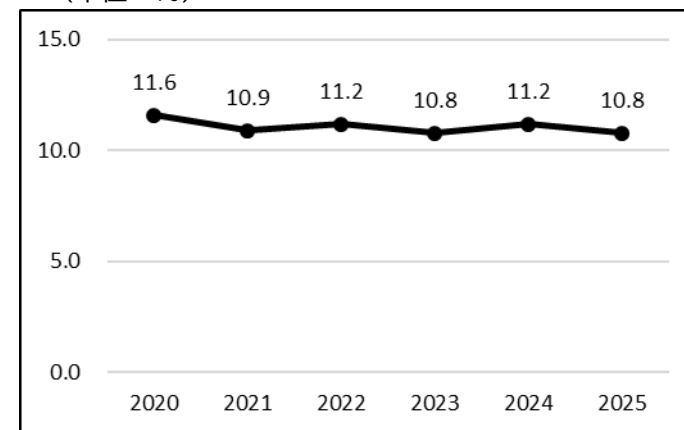
資源化率（単位：％）



資源買取市の利用者数（単位：人）



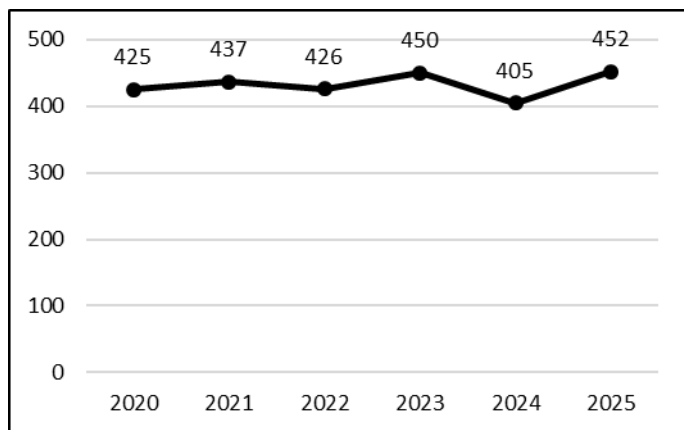
環境に配慮した製品を選んで使っている区民の割合（単位：％）



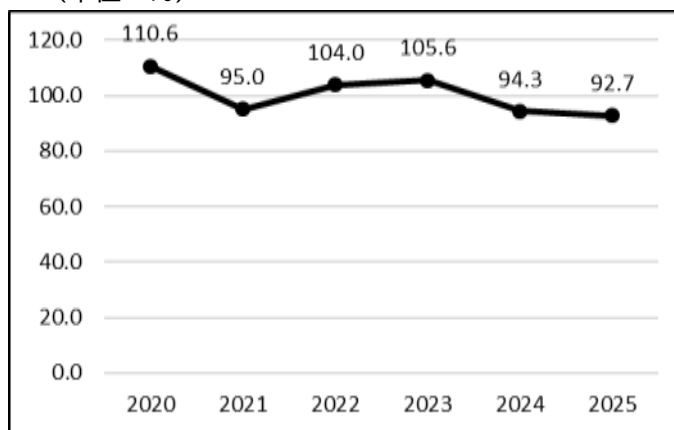
【柱3 生活環境の維持・保全】

(3-1 生活環境の保全と公害対策の推進)

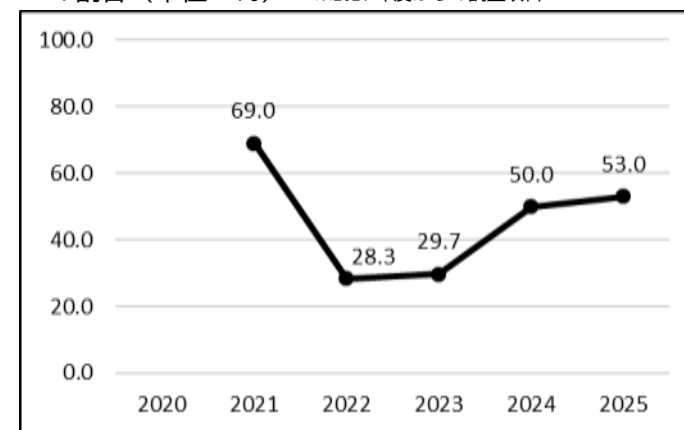
公害苦情の相談件数（単位：件）



公害苦情相談の解決率（解決件数／受付件数）（単位：％）

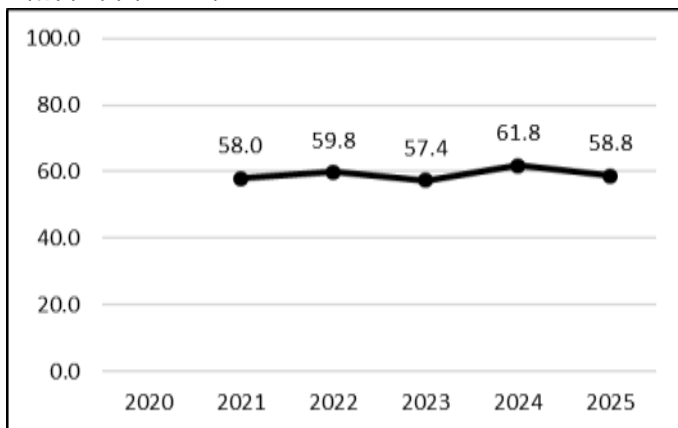


適切なアスベスト対策を行っている解体等工事現場の割合（単位：％） ※2021年度からの調査項目

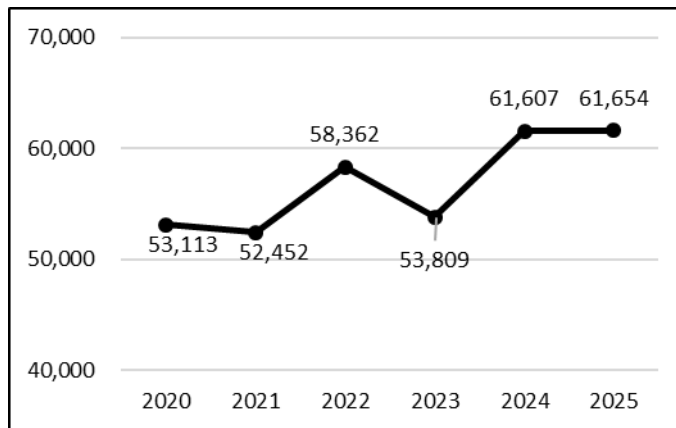


(3-2 快適で美しいまちづくり)

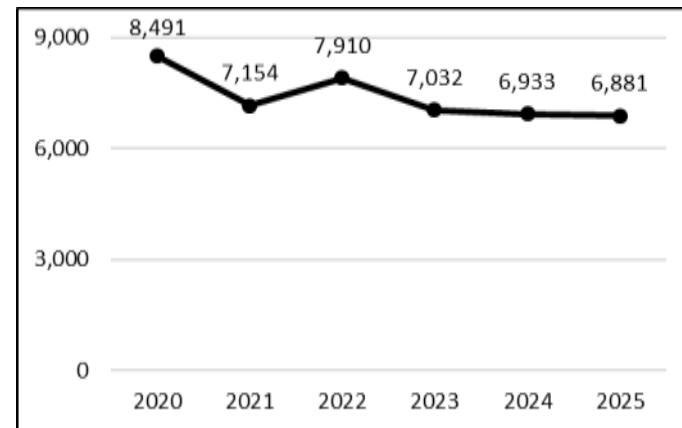
ごみがなく地域がきれいになったと感じる区民の割合（単位：％） ※2021 年度からの調査項目



ごみゼロ地域清掃活動の参加者数（単位：人）



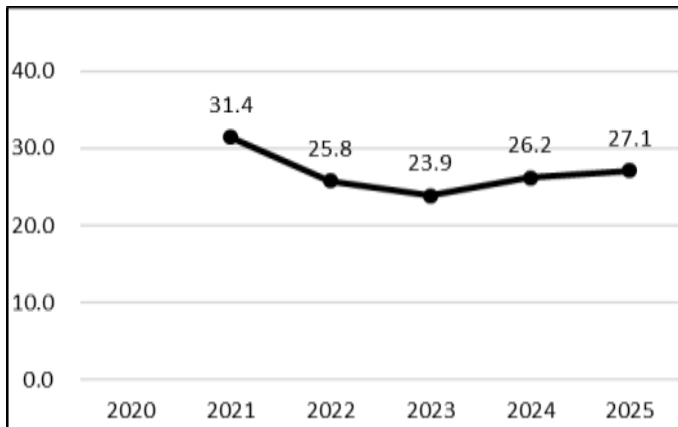
不法投棄処理個数（単位：個）



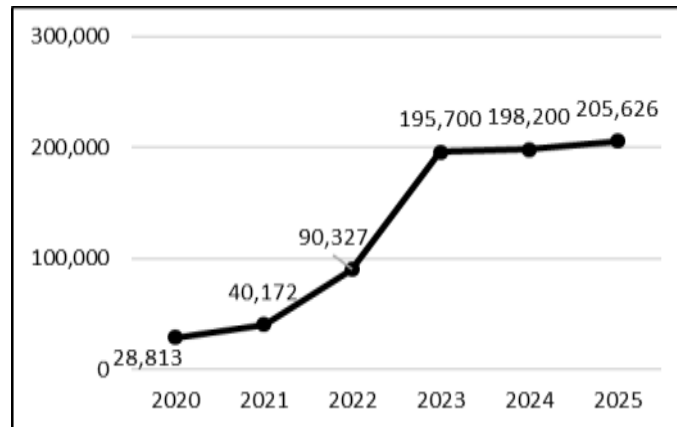
【柱 4 自然環境・生物多様性の保全】

(4-1 自然や生物多様性に対する理解の促進)

自然環境を大切にすることを心がけている区民の割合（単位：％） ※2021 年度からの調査項目

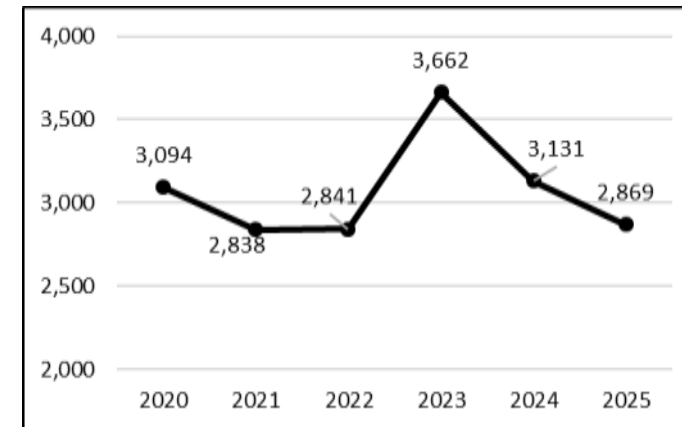


生物とふれあう事業の参加者数（単位：人）



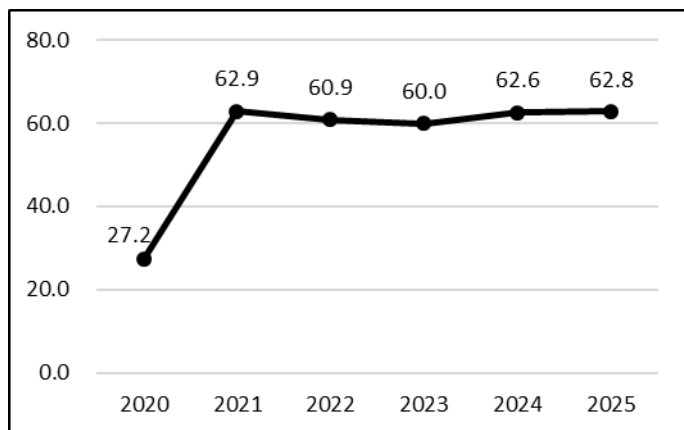
自然や生物に関する情報発信回数（単位：回）

※2020 年度からの調査項目



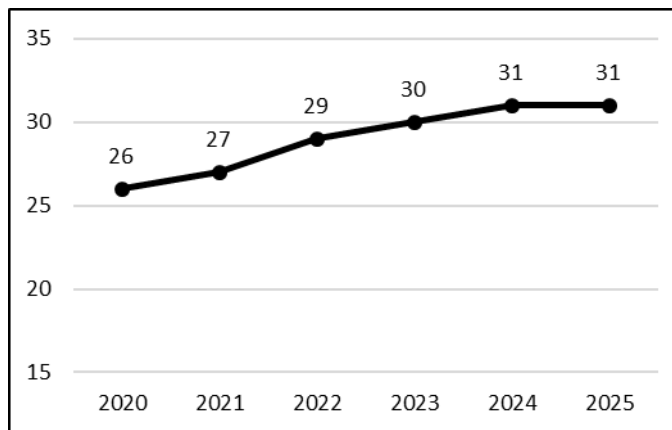
(4-2 自然環境の保全と創出)

まちなかの花や緑が多いと感じる区民の割合（単位：％）



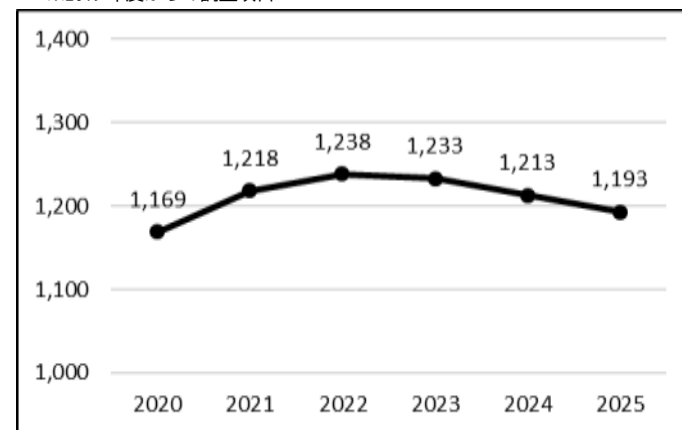
2021 年度世論調査より質問項目が「まちなかの花や緑が増えていると感じる区民の割合」から修正されたことを受け、実績値が大幅に上昇しました。

保存樹林指定箇所数（単位：箇所）



緑豊かな景観形成に取り組む団体・区民の数

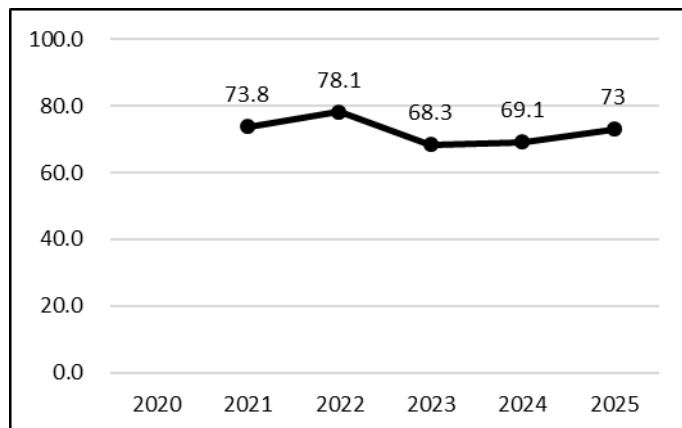
※2019 年度からの調査項目



【柱5 学びと行動のしくみづくり】

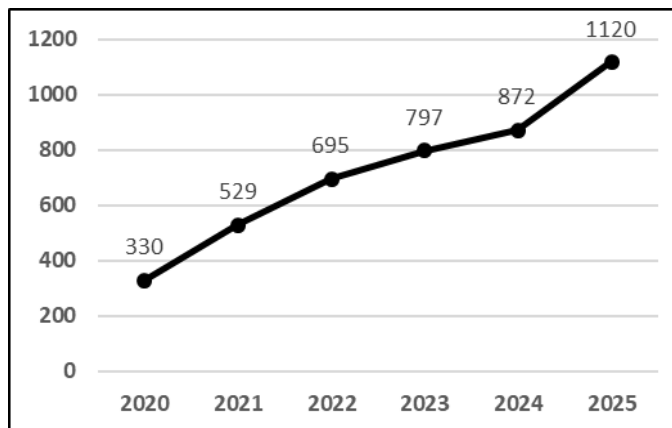
(5-1 環境意識の向上と行動する人材の育成)

日頃から環境への影響を考えて具体的に行動していると答えた区民の割合（単位：％）※2021 年度からの調査項目

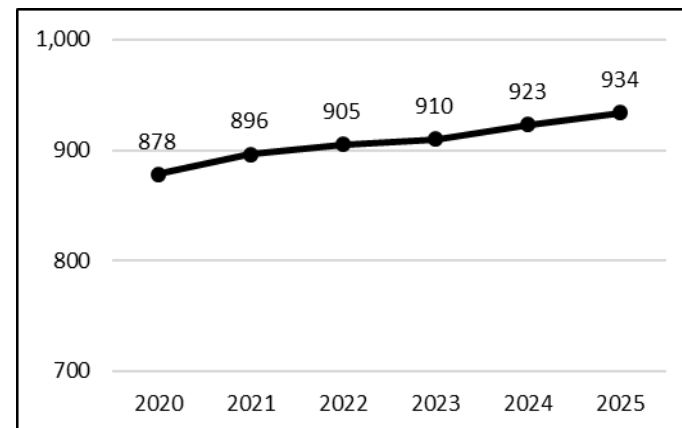


環境に関する情報発信回数（単位：回）

※2020 年度からの調査項目



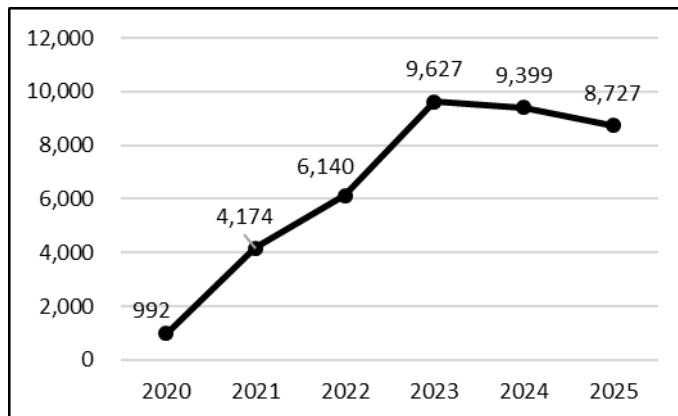
環境学習プログラムに参加し、修了した人の数（累計）（単位：人）



(5-2 環境保全活動の拡大)

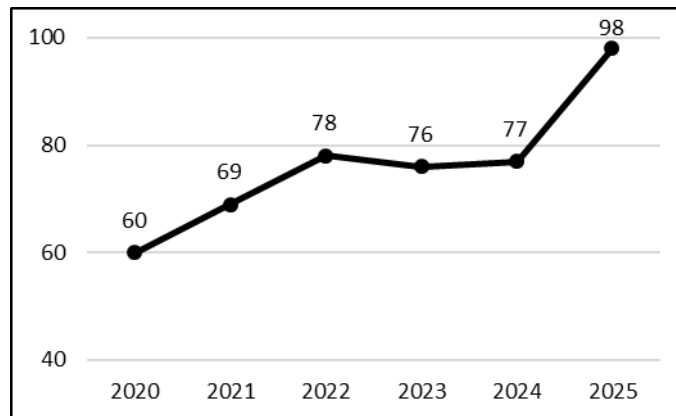
自主的な環境保全活動数（単位：回）

※2020 年度からの調査項目



区が実施する環境配慮を促す事業の数

（単位：事業） ※2020 年度からの調査項目



エコ活動ネットワーク足立の登録団体数

（単位：団体）

